

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

希望に満ち溢れた新年をお迎えの事とお慶び申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、皆様に於かれましては三密の回避など「新しい生活様式」の実践等により、大きく日常生活が変化した一年であったと思います。

ワクチン接種等により、今後はこれまでの様な爆発的な感染拡大は無いのではないかとの楽観論も一部で見受けられますが、新たな変異株の発生等によりまだまだ予断を許さない状況下でありますので、引き続きの感染予防策の徹底をお願い申し上げますとともに、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた経済対策の本格化に努めてまいります。

また、昨年は新たなキーワードとして「カーボンニュートラル」が注目を集めた一年でもあったと思いますが、集中豪雨をはじめ世界各地で異常気象が発生する中、脱炭素化は待ったなしの課題であると同時に、気候変動への対応は我が国経済を力強く成長させる原動力になります。

こうした背景のもと我が国は2050年までに脱炭素社会の実現を目指しており、本県においても新たに戦略会議を設置し、温室効果ガス排出量削減に資する具体的なプロジェクトの創出に向け、その第一弾として矢作川流域をモデルケースとした検討も始まりましたので、今後はこれらの動きを注視しつつ、更なる活動に繋げてまいりますとともに、従来からの課題である少子高齢化対策や大規模自然災害への備えの充実等にも全力で取り組んでまいりますので、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。

最後に、本年一年が皆様にとって幸多き年となるよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



愛知県議会議員

こ た ま よ し か ず

樹神 義和 